



# リニアの時代



## 遠藤ひろし

県政発展と地域振興

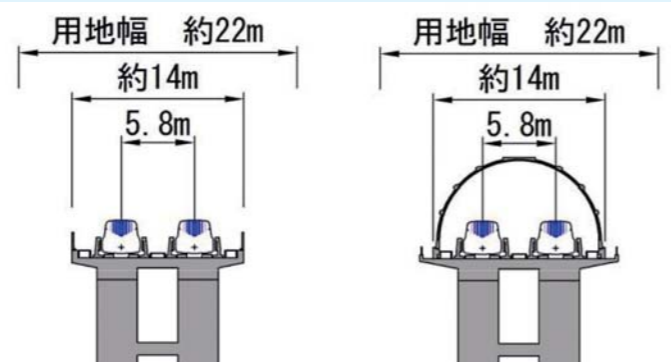
### ●新しい時代へ

中央リニア新幹線は、時速500kmの速さで東京と大阪を結ぶ世界最速の輸送手段です。2027年には、東京・名古屋間286kmを先行開業し40分で結ぶ計画です。山梨県にリニア新幹線の駅が開設されれば、新たな交流が生まれビジネスやレジャーの幅が広がり本県活力の向上に大きく貢献することでしょう。

新しい時代に向け、国家級の大プロジェクトをどう活用していくのか、後世にどう引き継いでいくのか議論すべき時だと思えます。

市川三郷町と駅とのアクセス整備や資源としての活用など幅広い地域づくりが求められ、可能性も広大だと思います。遠藤ひろしは、新しい時代に向け情報収取とアイデアで「県政発展と地域振興」に取り組みます。

### ●見える化は



中央リニア新幹線が快走する雄姿を見たい。あるいは、観光資源としたいとする提言がある一方、騒音や安全に対する対応から、コンクリートフード設置の可能性もあります。

フードを設置した場合、素材や施工上の問題も見える化は困難です。防音壁だけの場合は、車窓から上の部分を見る事ができます。

### ●あかり区間

中央リニア新幹線は、起点である地下40mの東京品川駅から名古屋まで、ほとんどが地下トンネルを走ります。地上を走る「あかり区間」は、わずかですがその大部分は甲府盆地です。市川三郷町大塚地区の丘陵地からの眺めは、「あかり区間」の大部分が眺望できる絶景地として期待されます。



### ●東京オリンピック



第32回夏季オリンピックの開催は2020年、東京と決まりました。開催地が決定すると、徐々に海外からの観光客が増える事から観光バブルの様相を呈してきました。

オリンピックに照準を合わせたリニア運行の期待も高まります。しかし、工事の規模の大きさから「物理的に無理」(JR東海)としていて一部区間先行運行も不可能な様子です。となれば、2020年までに、リニアが走っているのは山梨県内だけという可能性もあり観光資源としての有効活用が求められます。山紫水明・歴史と伝統文化の市川三郷町が世界から注目されるよう取り組みます。